

**教科目標**

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

| 1学期 主な学習内容（24時間）   | 2学期 主な学習内容（28時間）  | 3学期 主な学習内容（18時間）   |
|--|---|--|
| [技術分野]<br>●生活や社会を支えるエネルギー変換の技術<br>●エネルギー変換の技術による問題解決<br>・これまでの学習を踏まえた統合的な課題（スピーカーの製作）<br><br>[家庭分野]<br>●これからの家族と地域<br>・家族との関わり<br>・家族や地域の高齢者との関わり<br>・地域での協働を目指して<br>・家族・家庭と地域<br>●幼児の生活と家族<br>・自分の成長を振り返る<br>・自分の幼児期を振り返る | [技術分野]<br>●エネルギー変換の技術による問題解決<br>・これまでの学習を踏まえた統合的な課題（スピーカーの製作）<br><br>[家庭分野]<br>●幼児の生活と家族<br>・幼児の体の発達、幼児の心の発達<br>・幼児の生活習慣の習得<br>・幼児の生活と遊び、幼児との関わり方<br>・子どもにとっての家族<br>●これからの私と家族<br>・中学生にとっての家族<br>・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活 | [技術分野]<br>●エネルギー変換の技術による問題解決<br>・これまでの学習を踏まえた統合的な課題（スピーカーの製作）<br>●これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方<br><br>[家庭分野]<br>●消費生活と環境<br>・持続可能な社会の構築に向けて |

**評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。）**

|                      | 評価の観点（1学期より抜粋）  | 評価の方法・資料   | 評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定（行動目標）  |
|----------------------|---|--|--|
| I<br>知識・技能           | ・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる。<br><br>・問題解決に必要な知識を身に付けている。                                       | [全教科共通]<br>・定期テスト<br>【各教科の方法・資料】<br>・授業で行う実習課題（機械模型の製作、幼児の生活や遊びに必要な物の製作）   | 適切な製作について、作品はA、B、Cで評価する。<br>A：図面通り正確に製作できた箇所が80%以上である。<br>B：図面通り正確に製作できた箇所が50%以上である。<br>C：図面通り正確に製作できた箇所が50%未満である。<br><br>家族・家庭生活について、レポートはA、B、Cで評価する。<br>A：家族、幼児、地域の生活の問題解決に必要な知識を正確に身に付けている。<br>B：家族、幼児、地域の生活の問題解決に必要な知識を身につけている。<br>C：家族、幼児、地域の生活の問題解決に必要な知識を身につけていない。  |
| II<br>思考・判断・表現       | ・設計を具体化できる。<br><br>・幼児とのよりよい関わり方について考えている。  | [全教科共通]<br>・定期テスト<br>【各教科の方法・資料】<br>・授業で行う実習課題（レポート、授業の振り返りの記録、図面等）  | スピーカルの設計の具体化についてレポートはA、B、Cで評価する。<br>A：目的に対して適切な機構を選択し、その運用について実現可能な方法を考え、レポートで正確に表現している。<br>B：機構の運用について考え、レポートで表現している。<br>C：機構の運用について考えていない、またはレポートで表現できていない。<br><br>幼児との関わり方について、レポートはA、B、Cで評価する。<br>A：幼児とのよりよい関わり方について考え、レポートによって相手に正確に伝えている。<br>B：幼児との関わり方について考え、レポートによって相手に伝えている。<br>C：幼児との関わり方について考えていない、またはレポートによって相手に伝えることができていない。  |
| III<br>主体的に学習に取り組む態度 | ・問題を見いだして課題を設定し、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えようとしている。<br>・幼児の生活の中から問題を見いだしてよりよい生活を考え、実践しようとしている。 | [全教科共通]<br>・「知識及び技能」の観点の評価<br>・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価<br>【各教科の方法・資料】<br>・授業で行う実習課題への取り組み状況（授業観察、実習課題等の状況、授業の振り返りの記録） | [全教科共通]<br>・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。<br>・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。<br>・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。<br><br>【各教科 独自の方法】<br>A：授業の振り返りに、課題への取り組みの中で自ら見いだした問題点と、考えた有効な解決方法を記録している。さらに、問題が解決するまでその方法で継続的に粘り強く取り組んでいる。<br>B：授業の振り返りに、課題への取り組みの中で自ら見いだした問題点と、考えた解決方法を記録し、その方法で課題に取り組んでいる。<br>C：問題点があるにも関わらず記録していない、解決方法を考えていない、または問題解決に向けての取り組みをしていない。 |